

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	街なか賑わいづくり振興事業	事業コード	401
-----------	---------------	-------	-----

総合戦略	基本施策 体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	中心市街地の活性化および商業者の人材育成と経営者の意識改革や商店街等各種商業団体の育成を図るとともに、本市が進めるSDGsの普及を推進する。				
	概要	賑わい・憩い・癒しにあふれる個性と特徴のある街づくりのため、街なかの賑わいを創出し、商業者の人材育成、経営者の意識改革の促進、各種商業団体の活性化や周辺商業の振興を図るために商店街の活性化やイメージアップにかかる事業に対する支援を行う。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	商店街等各種商業団体に対して補助金等交付事務ならびに進捗管理業務				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	商業者自らが提案し取り組む活性化事業数		事業	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	3	1	1		
	計算根拠	商業者からの新規提案事業数		達成率(%)	300	100	100		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.25			
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	補助費等			※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	9,398	9,975	6,902	6,692	7,057			
	決算額	9,352	9,133	6,806					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	郊外大型店舗に客足が集中する傾向にあり、商店街等の経営者は苦境に立たされている。街中に賑わいを創出することを求めている者は多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	中心市街地を活性化することは商工振興行政の重要課題である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	現状を熟知している商店街自らが、街なかに賑わいを創出すべく活性化事業に取り組んでおり、今以上にコスト削減の余地はない。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 補助金等の活用	根拠	福井県の令和元年度6月補正により「商店街等集客力向上支援事業」が創出され、今後は事業計画を策定した商店街の取組や整備には支援活用が可能となる。	
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	商店街それぞれが個性や特色を活かした事業計画を策定した上で、効果的な支援を検討する必要あり。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 統合
	令和元年度取組み	商店街を対象とした事業では、団体の年間計画に基づいた賑わいを創出する企画を引き続き支援し、街なかの賑わいづくりに努める。 商業者を対象とした事業では、H30年度に商業者の現状把握のためのアンケート調査を実施しており、具体的な支援策を検討し、特に空き店舗解消や後継者不在などの課題から着手したい。	令和2年度計画	商店街対象の事業では、団体が数年に渡って実施してきた事業を整理し、収益性を高めて自走できる仕組みづくりを検討する。 また、令和2、3年度の期間は本市が掲げるSDGs普及推進のため、商店街組織が取り組む新たなSDGs推進企画・事業について、スタートアップとして重点的な支援を行う。 商業者対象の事業では、空き店舗対策事業（家賃補助）が終了するため、物件所有者と利活用を促す交渉を継続して実施する。 令和2年度より「おもてなしカススキルアップ事業（事業コード3445）」を統合。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	つつじまつり開催事業	事業コード	1122
-----------	------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	263
		若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進	

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	日本海側随一である約5万株(11種類)のつつじを誇る“日本の歴史公園百選 西山公園”を中心とした「つつじ」のイベントを開催し、県内外から観光客の定着を図るとともに、鯖江市の観光振興、商店街および地場産業の活性化に資する。				
	概要	つつじまつり実行委員会を組織し、西山公園のつつじを観光素材とした「つつじまつり」を5月GWに開催する。開催にあたっては、西山公園のつつじを活かした企画をはじめ、鯖江市の観光PRや物産販売、地場産業の情報発信を行う。また、中心市街地商店街のエリアでのおかみさん会や商店会等によるおもてなし事業もあわせて開催し、にぎわいを創出する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	商工会議所内につつじまつり実行委員会を設置し、負担金を支出している。市も事務局として委員会に加わり開催する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	つつじまつり来場者数		人	目標値	200,000	200,000	200,000	180,000	170,000
				実績値	207,000	202,000	188,000		
	計算根拠	※H25・H26 会期期間 2日 H27～ 会期期間 3日			達成率(%)	103.5	101	94	
				実数値					
			ランク	A	A	B			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.25		【単位:千円】	
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	補助費等			※所要時間	0			
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200			
	決算額	6,200	6,200	6,200					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	毎年まつりへの参加希望者が多数あり、市民のニーズは十分である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	鯖江市民のまつりであり、市が関与する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
		根拠			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	収益性の高いイベントを企画するなどして、イベントによる収入の増額に努める。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国や県の補助金で財源を確保するものはない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	これまで、実行委員会にて多様なイベントを企画、開催してきたが、マンネリ化してきた企画の改善に向け、実行委員会以外のメンバーによる検討委員会を立ち上げ、検討を行うこととする。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	日本海側随一のつつじを誇る“日本の歴史公園百選 西山公園”を中心に集客イベントを開催することにより、県内外から観光客の誘客を図ることを目指し、鯖江地区の商店街等と連携して、JR鯖江駅と西山公園を繋ぐ街なか周回バスを運行する。また、西山公園とめがねミュージアムやうるしの里会館等の市内産業観光施設を結ぶシャトルバスを運行し、さらなる誘客を図る。まつり開催後には、外部からの意見を取り入れ、さらに魅力的なまつりとするため、検討委員会を設けて意見交換会を開催し、マンネリ化してきた企画の見直しを進めていく。	令和2年度計画	つつじまつりの更なる魅力向上を図るため、検討委員会から提案のあった意見（つつじに特化した企画の実施や飲食の開発、滞在しやすい環境づくり等）をもとに、つつじまつり実行委員会および各部会で検討し、来園者の満足度を更に高める方策や効果的な広報、SDGsを意識した取り組み等を実施する。また、昨年度同様、西山公園だけでなく中心市街地のにぎわい創出を目指し、おかみさん会等の商店街の関係者の方と連携を図りながら、街なか周回バスの運行や商店街ならではのおもてなしイベントを開催して街なかエリアへの誘客を目指す。

【提案型市民役事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	観光協会補助事業	事業コード	1123
-----------	----------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	263
		若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進	

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	まちなか観光、産業観光等、本市の特色ある観光振興を図る。				
	概要	鯖江観光協会の運営に補助する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	観光客入込数		人	目標値	1,300,000	1,750,000	1,750,000	1,800,000	1,800,000
				実績値	1,822,900	1,736,592	1,886,032		
	計算根拠			達成率(%)	140.2	99.2	107.8		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員		
		事業タイプ	単独事業				臨時・嘱託		
		経費区分	補助費等				※所要時間 10		
	【単位:千円】								
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	8,691	9,320	10,889	9,417	9,400			
	決算額	8,691	9,020	10,889					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	鯖江市の観光資源を県内外にPRする唯一の団体である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	観光協会への運営補助である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
事業名					
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	必要最低限の補助であり削減する余地はない。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国や県の補助金で財源を確保するものはない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	年間イベント内容を充実させることで、鯖江市をより多くPRしているため、今以上に 成果を向上させる余地はない。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み	鯖江市の産業観光やまちなか観光活性化のために(一社)鯖江観光協会が行う事業について運営補助を行う。特に、昨年度実施した「桜周遊バスツアー」や「親子で鯖江の魅力体験ツアー」が好評だったため、持続可能な料金体系を検討しつつ、着地型旅行商品の企画・販売を行い、市内外に鯖江の観光をPRする。また、SNSやインターネット広告などを活用した四季折々の西山公園の魅力発信事業にも取り組む。	令和2年度計画	鯖江市の産業観光や着地型旅行商品の開発のために(一社)鯖江観光協会が行う事業について運営補助を行う。市内の観光情報を集約し、雑誌、WEB媒体等に対する情報発信を一手に担うことで、鯖江の観光窓口としての機能を強化する。また、インスタグラムなどSNSを活用した魅力発信事業に取り組み、「映える写真」を活用したポスターを制作し、PRするなど年間を通した誘客を目指すとともに、土産物の販売売上の拡大と収益性向上を目指し、組織の収益構造の強化に取り組む。

【提案型市民役事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	学生との連携によるうるしの里活性化事業 (河和田アートキャンプ)	事業コード 2278
-----------	----------------------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若者が住みたくなるまちの創造	河和田キャンパス(創造産地)の構築	交流人口増加への取組み
232				

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	伝統工芸である越前漆器や職人、豊かな自然などの地域資源を、都市にすむ大学生達の外からの視線で再確認しながら若い感性で創意工夫をこらし、地域住民との協働で、越前漆器の産地である『うるしの里』のまちづくりを行う。				
	概要	福井豪雨をきっかけに知り合った京都や福井の大学生達が、夏休みを利用して地域に滞在(キャンプ)しながら「うるしの里」の魅力に直接触れ、学生の視線や感性で伝統工芸や自然、環境などの地域資源を活かし、新しい風を取り入れたまちづくりを地域と協働で取り組む。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容					

DO(実施)	活動指標									
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	
	※設定困難			目標値						
				実績値						
	成果指標									
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	
	参加学生数		人	目標値	100	80	60	60	60	
				実績値	72	60	60			
	計算根拠			達成率(%)	72	75	100			
				実数値						
			ランク	C	C	A				
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.3				
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託					
	経費区分	補助費等			※所要時間	0				
【単位:千円】										
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称			
	予算額	0	1,000	1,100	1,100	1,100	県外若者へのふくい体験プログラム			
	決算額	0	1,000	1,100			提供事業補助金(福井県) 補助金額 150,000円			

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	河和田アートキャンプ実行委員会には、地区内の団体等が委員として参加し、学生とともに事業の企画段階から参画しており市民のニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	河和田アートキャンプは、民学産官連携事業として実施している事業であり、行政が関与する必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
			根拠		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		事業名			
		根拠			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	京都と鯖江の往復に必要なレンタカー代等がかさんでいるので、滞在期間の見直し等で、多少のコスト削減は可能である。		
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 補助金等の活用	根拠	財源確保の手段として、地域おこし協力隊の活動事業およびF×G事業として取り組んでいる。民間団体の助成金の活用によりさらなる財源確保を目指したい。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	平成21年度からは、事業の装いを一新し、アートを行なう学生と受け入れる地元が一体となった事業展開を図るべく実行委員会を運営している。また平成29年度より地元住民への理解、協力を得るために、活動内容報告を期間中4回、町内報として発行している。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	昨年度は参加人数が60人と少数精鋭となったが、小規模になった分、地域の方々とのつながりが密接で深くなった。今年度も引き続き60人態勢でのアートキャンプとなり、職人、地元の方とのつながりを意識したプロジェクトを行い、地域の方々や学校での授業を通して子供たちと頻りに交流した。来年度も規模は同程度になる見込みで、地域の方の望むプロジェクトを行っていく。財源については来年度も引き続き地域おこし協力隊の活動費と、「クラウド型ふるさと納税（F×G）」を利用し財源確保に努め、加えて国や財団の該当する補助金等を探し、申請する予定である。	令和2年度計画	活動スペースの面から参加数は60名程度を見込み、学生の視線や感性を生かしつつ、地域の要望を取り入れたプロジェクトを目指す。 また、地域の方や職人の知恵や技術を学ぶとともに、地域で提供された廃材を活用した制作活動や、地元小学校や学童での授業およびワークショップを開催する。 今後も受け入れる地元住民の理解、協力が得られるよう学生の取り組みについて、広報誌やホームページで情報発信する。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	若者による地域活性化推進事業	事業コード	2653
-----------	----------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	211
		若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多様性があるまち～	学生連携事業	

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域の将来を担う若者たちが連携し、地域において自主的に活動する。 市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。 				
	概要	全国の学生（大学生、大学院生、高専生）に参加者を募り、選考を通過した18人の学生が鯖江市に集い、12人の地元高校生と共に6つのチームを組む（1チーム大学生3名+高校生2名）。2泊3日の合宿を行いながら、未来の鯖江を創造するため、デザインシンキングやプロトタイプを作るなどし、何度も市民にインタビューを行いながらプランを作成。住みたい鯖江、創りたい鯖江を合宿最終日にプレゼンテーションし、提案後は実現に向けて小さくてもいいので行動の一步を踏み出す。				
	法令根拠	なし				
実施形態	現在	民間等委託（全部）				
	内容	地元大学生および過去の地域活性化プランコンテストの参加者が中心となって、地元住民や関係機関・団体と協働して実施する。				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	プレゼンテーション参加学生数		人	目標値	24	24	30	30	30
				実績値	24	24	30		
	計算根拠			達成率(%)	100	100	100		
				実数値					
				ランク	A	A	A		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	1,000	800	800	1,350	1,350			
	決算額	900	800	800					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	地元大学生が中心となって、地元住民や関係機関・団体と協働して実施し、地域住民や団体、地元学生との交流を深め、協働連携活動の推進や地域活性化の基礎作りを進めており、地域住民等のニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	まちづくりに関する事業であり、行政が関与すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	県内外の学生が合宿しながらプラン作りを行っているが、地域の方々がボランティアとして食事作りなどに関わるなど、費用をできるだけ抑える事業展開としているため、今以上のコスト削減の余地はない。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> その他	根拠	学生が集める企業協賛金が資金の一部であるため、学生の努力次第で今以上の財源確保は可能である。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり		根拠	10年以上にわたり同じ方法で活性化プランコンテストを行ってきたため、平成30年どより内容を見直し、高校生が参加する内容となる。このように効果検証を行いながら中身を見直すことで成果の向上は可能である。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	これまでのプランコンテストは、全国から選抜された大学生のみでチーム編成していたが、昨年度から地元高校生もチームに加わった。さらに市の現状や問題点などを調べて解決策を提示するという「課題解決型」から、自分達が創りたい未来の鯖江をプランニングし提案するという「未来創造型」のコンテストに進化した。発表もスキット方式という寸劇で行った結果、非常に来場者から分かりやすいと評判も良かったため、引き続き同じ方式で行う予定である。	令和2年度計画	例年、地域活性化プランコンテストの企画と運営は、様々な意見を取り入れながら改善が繰り返しており、参加学生の満足度も非常に高く、今後も継続して実施したい。 なお、提案内容の具現化に対するスタートを早くすることで、年度末に駆け込みで行いがちな具現化の計画実施を余裕を持って行うようにしたい。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	学生滞在型まちづくり活動支援事業	事業コード 2944
-----------	------------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標 若者が住みたいとなるまちの創造	基本施策 若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多様性があるまち～	実施施策 学生連携事業
	211			

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市に滞在し、まちづくりに関する調査・研究、スポーツ・学術研究等の合宿を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成し、滞在環境を整えることで、若い世代の呼び込みを図る。本市への滞在を通して地場産業や風土、人情に触れていただき、地域のPRを図るとともに、学生の若い感性による提案や提言を受け、まちづくりに生かしていく。					
	概要	鯖江市に滞在し、まちづくり等の調査、研究を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成する。 【提案型】まちづくりの研究を行い、市に対して提案、提言を行う。(1人泊あたり1,500円助成) 【合宿型】スポーツ・勉強等を行い、自己の体位・学力の向上に努める。(1人泊あたり1,000円助成) 【ゼミ合宿】ゼミにおいて研究テーマに本市に関する題材を取り上げる活動。(1人泊あたり1,500円助成)					
	法令根拠						
実施形態	現在	民間等委託(一部)					
内容	市として県へ補助金申請を伴う業務も含まれており、民間へ全部を委託することは不可能である。しかし、学生募集等の業務については、民間委託も可能と考える。						

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	大学等への周知活動(HP掲載)回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	補助制度活用学生数		人泊	目標値	2,000	2,000	1,500	1,500	1,300
				実績値	1,427	1,416	1,300		
	計算根拠			達成率(%)	71.4	70.8	86.7		
				実数値					
				ランク	C	C	B		
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	補助(県)事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	補助費等		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	1,298	983	955	989	1,477	福井を学ぶ体験旅行推進事業補助金		
	決算額	862	912	907					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	学生と地域住民との交流によるまちづくりは、地域に元気と活性化をもたらすものであり、必要不可欠である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	当該事業は市から学生等への補助、および県へ補助金申請が主たる業務であり、民間へ委託することは不可能である。しかし、PR、学生募集等については、民間でも実施可能である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	補助要綱に基づくため	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	県の補助を活用しており、これ以上の財源確保は不可能である。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	情報を十分に周知させることで、申請者を増やし有効活用できる。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 事務改善	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	県外の旅行会社・宿泊施設および大学へチラシを送付し、学生が活動しやすい環境の充実や鯖江の魅力を発信するとともに、学生誘致を促進する。また、ラボゼとの連携を強化し、学生の合宿場所としての活用をPRすることで補助制度利用者を増やし、交流人口増加を目指す。	令和2年度計画	合宿補助制度について、県外大学等へのチラシ送付、ホームページおよびfacebook等でPRするとともに、市内宿泊施設への制度周知・協力を依頼することにより学生合宿の誘致を促進する。また、合宿補助の要件として、ブログやSNSを活用した鯖江市のPRを行うことを必須としており、積極的な情報発信を促したい。さらに、ラボゼかわだとの連携を強化し、学生の合宿場所としての活用をPRすることで補助制度利用者を増やし、交流人口増加を目指す。

【提案型市民役事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	日中外国語大学と地域住民との「絆」交流促進事業	事業コード	3005
-----------	-------------------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	211
		若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多様性があるまち～	学生連携事業	

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	日中交流学生団体「京英会」が主催する日中相互訪問プロジェクト～現地語でつなぐ絆～において、鯖江市日中友好協会と鯖江市民主役条例推進委員会の協力のもと、中国人学生や東京在住の学生に鯖江の豊かな自然や文化を紹介するとともに、地域住民との膝を交えた日中交流により、大都市圏だけでなく、中国社会での鯖江の知名度アップを図り、地域住民による日中友好の絆を構築する。				
	概要	北京外国語大学を中心とした中国人学生約15人と東京外国語大学を中心とした日本人学生約15人の日中の大学生計約30人が鯖江市に滞在するにあたり、地域交流にかかる支援を行う。				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託(全部)				
	内容	提案型市民主役事業により、鯖江市日中友好協会や他の市民団体等の協力を得ながら、民間団体に委託して開催する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	日中外国語大学と地域住民との交流会開催数		回	目標値	2	3	3	3	3
				実績値	3	3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	交流会参加者数		人	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	67	65	52		
	計算根拠				達成率(%)	134	130	104	
					実数値				
			ランク	A	A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.12			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託	0			
	経費区分	物件費		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額	300	350	350	350	350			
	決算額	300	350	350					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	本事業は、平成23年地域活性化プランコンテストにおいて、地域住民等からのリサーチをもとに提案された内容であることから、十分に住民等のニーズはあるものと判断できる。
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	中国と地域住民との交流は、行政をはじめとして日中友好協会や国際交流協会等の公的機関が中心となって事業展開すべきものと考えられる。
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体 事業名	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課 事業名	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	提案型市民主役事業で実施しており、コスト削減に努めている。
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>		根拠	自治総合センター等の補助申請を行っているが、現在までのところ採択されていない。 様々な団体の協力の下、継続して取り組むことにより、交流機会や内容が深まり、更なる日中交流の促進に繋がるものと思われる。	

ACTION	【令和元年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み 引き続き提案型市民主役事業化制度に基づき、学生の行動力と発想力を活かした事業を実施するとともに、将来のインバウンドを見越し、滞在中の体験プログラムや食事、おもてなし等におけるアンケートを行い意見を収集し、今後の外国人観光客へのおもてなし向上を目指す。	令和2年度計画 提案型市民主役事業化制度に基づき、学生の行動力と発想力を活かした事業を実施する。令和元年度に収集したアンケートによると「学生団体withとの交流が少なかった」「日中友好協会の活動内容を聞いたかった」などがある。これを踏まえて、地域交流の時間を見直し、若者間だけでなく、地域住民との日中友好の更なる向上を目指す。

【提案型市民主役事業実施】 <input type="text" value="可能"/>					
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	高校生・大学生との学生連携事業	事業コード	3016
-----------	-----------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	211
		若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多様性があるまち～	学生連携事業	

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	将来の鯖江市を担う地元の高中生や大学生が、住むだけのまちから何かをしたいと思えるまちへと意識の変化が芽生えることを目指すとともに、連携協定を結んでいる大学の学生等と連携して、鯖江市の認知度向上を図る。				
	概要	令和元年6月、鯖江商工会議所とともに相互連携協定を結んだ福井県立鯖江高等学校の取組みである「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に基づき、授業への講師の派遣、紹介等の協力を行う。また、連携協定を結んでいる大学の学生の受け入れや大学が開催しているホームカミングデー等の催事において、学生と一緒に本市の紹介および地場産業・地場製品のPR等を行う。				
	法令根拠					
実施形態	現在	市直営				
	内容					

DO(実施)	活動指標									
	指標名			単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	鯖江高等学校との連携協定にかかる連絡協議会開催			回	目標値				3	3
					実績値					
	連携大学でのホームカミング等で、学生と協力して行う「めがねのまちさばえ」のPR活動			回	目標値			5	1	1
					実績値			5		

DO(実施)	成果指標									
	指標名			単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	鯖江高等学校の地域連携プログラムに対するサポート件数			件	目標値				6	6
					実績値					
	計算根拠	1学期2件のサポート				達成率(%)				
					実数値					
	明治大学ホームカミング等への来場者数			人	目標値			1,000	4,000	4,000
					実績値			1,000		
	計算根拠	明治大学ホームカミングデー参加者数(鯖江市ブースのみ)の人数の把握はできない。 R1: 機構改革に伴い、商工政策課所管分を除く。				達成率(%)		100		
					実数値					
				ランク			A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.1
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称
	予算額	201	127	1,000	123	301	
	決算額	120	126	776			

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	連携協定を結んでいる大学や高等学校との連携の中で実施しており、鯖江市に対する ニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市との連携協定に絡んだ事業であり、市が積極的に実施すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
		【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	今以上のコスト削減は望めない。	
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	補助金等がないため市が単独で行う必要がある。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	鯖江高等学校との連携協定はまだ始まったばかりであり、今後、新設学科・コースから のニーズも見込まれ、更なるサポート体制の強化は見込めるものと考えられる。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み	鯖江高等学校と令和元年6月13日付で連携協定を締結し、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に基づき、授業への講師の派遣、紹介等の協力を行う。また、明治大学の学生4人を8月19日から23日まで受入れて、市のSDGs施策に対する調査研究のサポートを行うとともに、10月27日から28日の明治大学ホームカミングデーにて、学生4人と一緒に「めがねのまちさばえ」のPR活動を行う。	令和2年度計画	鯖江高等学校との連携協定に基づき、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」への積極的なサポートを行い、地域の関心を高め、鯖江型高校教育「オールSABAE」の構築に寄与する。また、明治大学の学生受入れおよびホームカミングデーにおいて、鯖江市のPRや魅力を情報発信する。加えて、他の高校や大学との連携を模索し、高校生や大学生の居場所づくりに努める。

【提案型市民役事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	鯖江市役所JK課プロジェクト事業	事業コード	3158
-----------	------------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	252
		若者が住みたくなるまちの創造	参加と協働による市民主役	(女子) 高校生のまちづくり参加の促進	

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	平成22年3月に鯖江市民主役条例が公布されて4年が経過しました。市民はもちろん近隣自治体、全国的にも「市民主役のまち鯖江」が浸透してきている。さらに市民協働を推し進めるために地域から世帯単位または若年層の参画を掘り下げ、より多くの市民の行政参加と協働を促し、鯖江市民協働の進化を図る。				
	概要	第1回「おとな版地域活性化プランコンテスト」で提案された企画を事業化。これまで市政に関しては「無関心層」と言われてきた女子高校生が、まちづくりチーム(鯖江市役所JK課)を結成。自らが企画した地域活動を実践することを通じて、若者・女性が進んで行政参画を図っていく新たなモデル都市となることを目指す。合わせて、産官学連携の枠組みを活用し、女子高生の活動を市や関係者がバックアップしながら、ふるさとへの誇りを全ての世代で共有していく。				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託(一部)				
	内容	市直営と民間委託(提案型市民主役事業:コード3681)での事業実施部分を分け、事業効果を向上させる。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	
	活動日数	日	目標値	30	30	80	80	60	
			実績値	115	85	137			

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	
	鯖江市役所JK課オリジナル企画開催数	企画	目標値	5	6	7	8	5	
			実績値	10	16	13			
	計算根拠			達成率(%)	200	266.7	185.7		
		実数値							
			ランク	A	A	A			

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.3
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称
	予算額	543	1,181	1,556	1,300	866	
	決算額	543	1,181	1,556			

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> あり	根拠	市内在住または市内の高校に通学する女子高校生がプロジェクト発足前から自発的に集まっており、まちづくりに対する関心はとて高いと思われる。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	学生連携によるまちづくり、そして市民主役のまちづくりを政策として進めており、このプロジェクトも若者によるまちづくりへの参画を目指したものであることから、行政が関与すべき事業である。	
	効率・効果	【競争】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり	所管課 事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠		
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> あり		根拠		現在のJK課メンバーからの新しい企画案が少なくなっているとともに、JK課卒業後の居場所が薄くなっていることから、JK課OG等の出番を創出することで課題を解決させる可能性はある。	

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 事務改善
	令和元年度取組み	JK課メンバーを随時募集しながら、メンバーの自発的な活動をサポートする。また、これまでの打合せ場所であった市役所から、まちなかのにぎわい創出のため、JR鯖江駅2階の「tetote」の活用を始めた。	令和2年度計画	令和元年度までは市直営で全ての事業を担当していたが、JKOG課を令和2年度より運営メンバーに加える(提案型市民主役事業)。JKOG課には、会議運営および自主企画の具現化等についてJK課の身近なサポート役となってもらい、JK課メンバー発案による自主企画のさらなる推進を図る。

【提案型市民主役事業実施】	<input type="checkbox"/> 可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	地域おこし協力隊による地域活性・地場産業振興事業	事業コード
		3354

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若者が住みたくなるまちの創造	河和田キャンパス(創造産地)の構築	河和田地区への移住・定住促進
				231

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	鯖江市外の人材を活用し、地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、鯖江市への定住および定着を促進する。				
	概要	鯖江市の東部に位置する河和田地区は、急激な人口減少と高齢化の傾向があり、河和田を取り巻く環境は年々厳しい状況となっている。そこで地域おこし協力隊が地域の方々と共に、さまざまなプロジェクトやイベントを企画運営しながら、眼鏡・漆器の地場産業の振興および「日本のふるさと」とも呼べる自然環境、歴史、文化、伝統を継承した河和田地区の活力再生、地域振興を図る取り組みを行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営			
	内容	報償費1人@165,000×12月、活動費1人@2,000,000円/起業支援補助費1人@1,000,000 ○R1地域おこし協力隊 にぎわい推進室3名、建築宮繕室1名 ○R2地域おこし協力隊 にぎわい推進室2名・商工政策課1名、建築宮繕室1名				

DO(実施)	活動指標									
		指標名	単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	
		※設定困難		目標値						
				実績値						
	成果指標									
		指標名	単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	
		プロジェクト提案数	件	目標値					4	
				実績値						
		計算根拠	地域おこし協力隊1人2件ずつ		達成率(%)					
				実数値						
			ランク							
	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.2				
	事業タイプ	補助(国)事業			臨時・嘱託					
	経費区分	物件費			※所要時間	0				
		【単位:千円】								
	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称			
	事業費	予算額	7,960	7,960	16,920	11,940	8,009	特別交付税		
		決算額	7,960	7,880	16,588					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	地場産業振興に向け、企業と連携を密に課題を解決するプロジェクトを遂行し、地元企業からの信頼も厚いため、十分なニーズがある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	総務省による特別交付金事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
		事業名			
	根拠	活動内容によって、事業費の削減は可能である。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	総務省の10/10特別交付金事業である。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	事業の見直しにより成果を向上する余地はある。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	令和元年度取組み	地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、地域のニーズに応えながら、地域と連携をとり地域力向上を図る。 地域おこし協力隊員は、河和田アートキャンプの実施、越前漆器のブランディング・新商品開発、県内外からのインターンや体験移住者を受け入れる移住・定住支援を行う。	令和2年度計画	地域おこし協力隊が地域のニーズに応えながら、地域の活性化に必要な施策に取組めるよう、隊員と定期的にミーティングを行い情報を共有する。 地域おこし協力隊は、①ゆるい移住等の移住・定住支援 ②アートキャンプの実施の2名で活動する。

【提案型市民役事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	おもてなし力 スキルアップ事業	事業コード	3445
-----------	-----------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	魅力あふれるまちなかの創造	中心市街地の活性化

411

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2017	終了年度	2019
	目的	新たな事業の取り組みや事業の多角化に向け事業者自身のスキルアップ研修を実施および支援することで事業者のやる気を向上させ、魅力ある商品づくりや店づくりを喚起し「若者が住みたくなるまち」を実現する。				
	概要	市内事業者の意識改革や人材育成を行うために、鯖江地区商店会連合会、鯖江おかみさんが主体となって開催する研修会や視察研修に対し支援を行う。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	団体が実施したい事業について精査し、補助金交付事務を執行。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	事業実施団体数		件	目標値		2	2	2	2
				実績値		2	2		
	計算根拠			達成率(%)		100	100		
				実数値					
			ランク		A	A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員				
	事業タイプ	単独事業			臨時・嘱託				
	経費区分	補助費等			※所要時間		40		
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額		500	159	300	0			
	決算額		138	152					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	固定客の維持、新規客の獲得のため、個店のおもてなし力を維持向上させることは必要である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	研修会開催や視察は個店単独では取り組むことが難しい内容のため、行政が支援すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>	
事業名					
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	補助金審査において、実効性を見極め事業採択を行い、計画に沿って事業遂行できた場合のみ補助金を支出しており、コスト削減の余地はない。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="補助金等の活用"/>	根拠	国、県、民間サービスにおいて内容が類似している補助事業があれば、情報を収集し、活用する。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠			

ACTION	【令和元年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【令和2年度 方向性】 <input type="text" value="統合"/>
	<p>令和元年度取組み</p> <p>鯖江地区商店街連合会は主に時事関係の研修会を主催し、講師を招く形式をとっている。鯖江おかみさん会は主に「まちゼミ」に関わる先進地視察や研修を実施している。上記は、全国商店街支援センターが提供している支援メニューに内容が類似しているものがあり、より実践的な支援が見込める。当該制度を維持しつつ、事務移行を検討する。</p>	<p>令和2年度計画</p> <p>全国商店街支援センターが提供している支援事業に内容が類似しているものがあり、商店街振興の専門家が派遣されるなど、より現場の要望に即した支援が見込める。鯖江地区商店街連合会には、「トータルプラン作成支援事業」、鯖江おかみさん会は「繁盛店づくり支援事業」の活用を提案する。職員の事務としては、事業執行に際して広報や開催支援などのフォローを行う。また、「街なか賑わいづくり振興事業(事業コード401)」へ統合し、更なる事務改善に努めたい。</p>

【提案型市民役事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>					
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	街なか彩り推進事業	事業コード	3446
-----------	-----------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	411
		安心で快適に暮らせるまちの創造	魅力あふれるまちなかの創造	中心市街地の活性化	

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	北陸新幹線県内延伸、東京オリンピック開催など観光客の増加が見込まれるなか、西山公園周辺や中心市街地エリアの街なか彩りをもたらす景観向上を図り、西山公園から街なかへの誘客に繋げる。				
	概要	本町3、4丁目「歴史の道線」に設置した歩道上にある植栽樹および花壇に花の植栽や水やり等維持管理を委託する。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(全部)			
	内容	提案型市民主役事業にて実施				

DO (実施)	活動指標									
	指標名			単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	実施回数			回	目標値		2	2	2	2
					実績値		2	2		
	計算根拠				達成率(%)		100	100		
					実数値					
				ランク		A	A			
タイプ	会計	一般会計			事業要員	正規職員				
	事業タイプ	単独事業				臨時・嘱託				
	経費区分	物件費				※所要時間	20			
【単位:千円】										
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称			
	予算額		250	250	250	250				
	決算額		250	250						

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	街なかの景観維持・美化活動は住民が必要としている事業である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	街なかの景観維持活動を支援することで、観光客や常連客の購買意欲向上にもつながり、ひいては鯖江市の魅力向上にもつながる。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		根拠			
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>	
事業名					
根拠					
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	実効性を見極め事業採択を行い、計画に沿って事業遂行できた場合のみ資金を支出しており、コスト削減の余地はない。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> 補助金等の活用	根拠	国、県、民間サービスにおいて内容が類似している補助事業があれば、情報を収集し、活用する。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠			

ACTION	【令和元年度 取組み】 <input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み 実施団体が10年以上継続してきた環境美化活動が昨年度より市民提案型事業に採択されたことで団体の意欲は向上している。 本年度も団体員が活動するほか、街なかに居住する市民自らによる環境美化活動として維持していく。	令和2年度計画 昨年度までの取組と今年度の進捗を評価し、提案型市民民主役事業の好例として挙げられる。 以前は受託団体が独自で会費・負担金を募って環境美化活動を行っていたが、市の事業として採択されたことで、会員だけでなく周辺住民の理解と協力が得やすくなっており、さらに住民と協働で事業実施ができる企画を増やしていく。

【提案型市民民主役事業実施】 <input type="checkbox"/> 可能					
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	実施	実施	実施	実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	めがねのまちさばえ応援商品開発支援事業	事業コード	3521
-----------	---------------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2018	終了年度	2020
	目的	北陸新幹線県内延伸にあたり、観光客の増加が見込まれるなか、めがねのまちさばえを応援し広くPRする新たな商品やパッケージ開発を支援することにより、魅力ある商品、売れる商品づくりを喚起する。				
	概要	鯖江市で1年以上、商業（卸売業、小売業）またはサービス業を主として営む中小企業者を対象とし、パッケージデザインには公式ロゴを入れることを必須とし、めがねのまちさばえをPRする趣旨に沿って企画提案されたパッケージについては審査の上、補助対象経費の1/2以内（上限20万円）を補助する。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容					

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	事業を説明・広報する機会の創出		回	目標値			2	2	2
				実績値			2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	事業実施店舗数		件	目標値			3	4	4
				実績値			3		
	計算根拠			達成率(%)			100		
				実数値					
		ランク				A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員		正規職員			
	事業タイプ	単独事業				臨時・嘱託			
	経費区分	補助費等				※所要時間		80	
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額			451	800	800			
	決算額			451					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	東京オリンピック、北陸新幹線県内延伸などを見据え、新たなパッケージの開発を企画している事業者は多い。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	「めがねのまちさばえ」の魅力を広くPRすることは、行政が実施すべき事業である。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	補助金審査において、実行性を見極め事業採択を行い、計画に沿って事業遂行できた場合のみ補助金を支出しており、コスト削減の余地はない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	国、県、民間サービスにおいて内容が類似している補助事業があれば、情報を収集し、活用する。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠			

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	事業者が企画している商品パッケージに「めがねのまちさばえ」の公式ロゴを採用してもらうことで、広報の相乗効果を図り、観光客に対して鯖江の魅力を広くPRできる。	令和2年度計画	平成30年度は菓子小売業で3件の実施、令和元年度も既に道の駅での土産用やふるさと納税の返礼品用など3件の事業申請がある。 「めがねのまちさばえ」の公式ロゴも市内の様々な用途で使用されており、引き続き事業者が企画している商品パッケージにを採用してもらうことで、広報の相乗効果を図り、観光客に対して鯖江の魅力を発信していく。

【提案型市民役事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

R1 事業名	丹南地域周遊・滞在型観光推進事業	事業コード	3528
-----------	------------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	広域観光の推進

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2018	終了年度	2022
	目的	北陸新幹線敦賀開業や冠山トンネルの開通時である平成34年に丹南5市町の観光客入込数約20%増を目指し、丹南地域の観光商品の開発、磨き上げと情報発信を展開し、点から線へ面へとつなぐことで周遊性を高めるとともに観光客の滞在時間延長と観光消費額の増大を図る。				
	概要	「丹南地域周遊滞在型観光推進計画」に基づき、平成34年度までのエリア内での統一した事業構築のために、コーディネーターの配置を行い、観光素材の掘り起こしや洗い出し、既存の観光資源をより一層磨きあげ、売れる観光商品づくりを行う。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
	内容	丹南広域観光協議会内に丹南地域周遊・滞在型観光推進委員会を設置し、負担金を支出している。市も委員会に加わり事業に参加している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	丹南地域周遊・滞在型観光推進委員会の開催		回	目標値			3	3	3
				実績値			3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
	観光客入込数		人	目標値			1,750,000	1,800,000	1,800,000
				実績値			1,886,032		
	計算根拠			達成率(%)			107.8		
				実数値					
				ランク		A			
タイプ	会計	一般会計		事業要員	正規職員	0.1			
	事業タイプ	単独事業		事業要員	臨時・嘱託				
	経費区分	補助費等		事業要員	※所要時間	0			
【単位:千円】									
事業費	区分	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	補助金等名称		
	予算額			2,969	3,526	3,526			
	決算額			2,969					

令和元年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	北陸新幹線敦賀延伸や冠山峠道路の全線開通を控え、本事業の実施により丹南地域を訪れる観光客が増え、滞在時間が増加することによる観光消費額の増大が見込まれる。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	丹南地域周遊・滞在型観光推進事業は丹南5市町で連携して行うため、行政が関与すべき事業である	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
			事業名		
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	事業名				
【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	各市町が丹南広域組合への拠出金割合に応じた負担金により実施するため、コスト削減の余地はない。			
有効性	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありませんか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	負担金を拠出している丹南広域観光協議会において県周遊・滞在型観光推進事業補助金を活用している。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	丹南地域周遊・滞在型観光推進計画に定められた事業を推進しているため、事業を拡大する余地はない。		

ACTION	【令和元年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【令和2年度 方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 維持
	令和元年度取組み	令和元年度は5カ年事業の2年目として、前年度に掘り起こしを行った観光資源について、それらの特性を活かした商品を作成し、実証事業を行って本格稼働に向けて展開していくとともに、二次交通、宿泊体制、シェアエコ、インバウンド、来訪者の受入体制を整備していくための方策を検討する。	令和2年度計画	5カ年事業の3年目として、引き続き観光資源の掘り起こし・磨き上げを行い、商品を作成し、実証事業を行う。また、これまでに行った実証事業、オンラインでのテスト販売の成果と反省を踏まえ、実際に販売する商品作成について検討し、ポータルサイトを構築するためのテストサイトを立ち上げる。二次交通、宿泊体制、シェアリングエコノミー、インバウンド、来訪者の受入体制を整備していくための方策についても専門部会等で引き続き検討する。

【提案型市民役事業実施】	<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施